

コーヒードリッパー「パチット」と コーヒーメーカーの水消費量比較



東京都市大学 伊坪 徳宏 准教授 × (社)エコ食品研究会

対象商品紹介



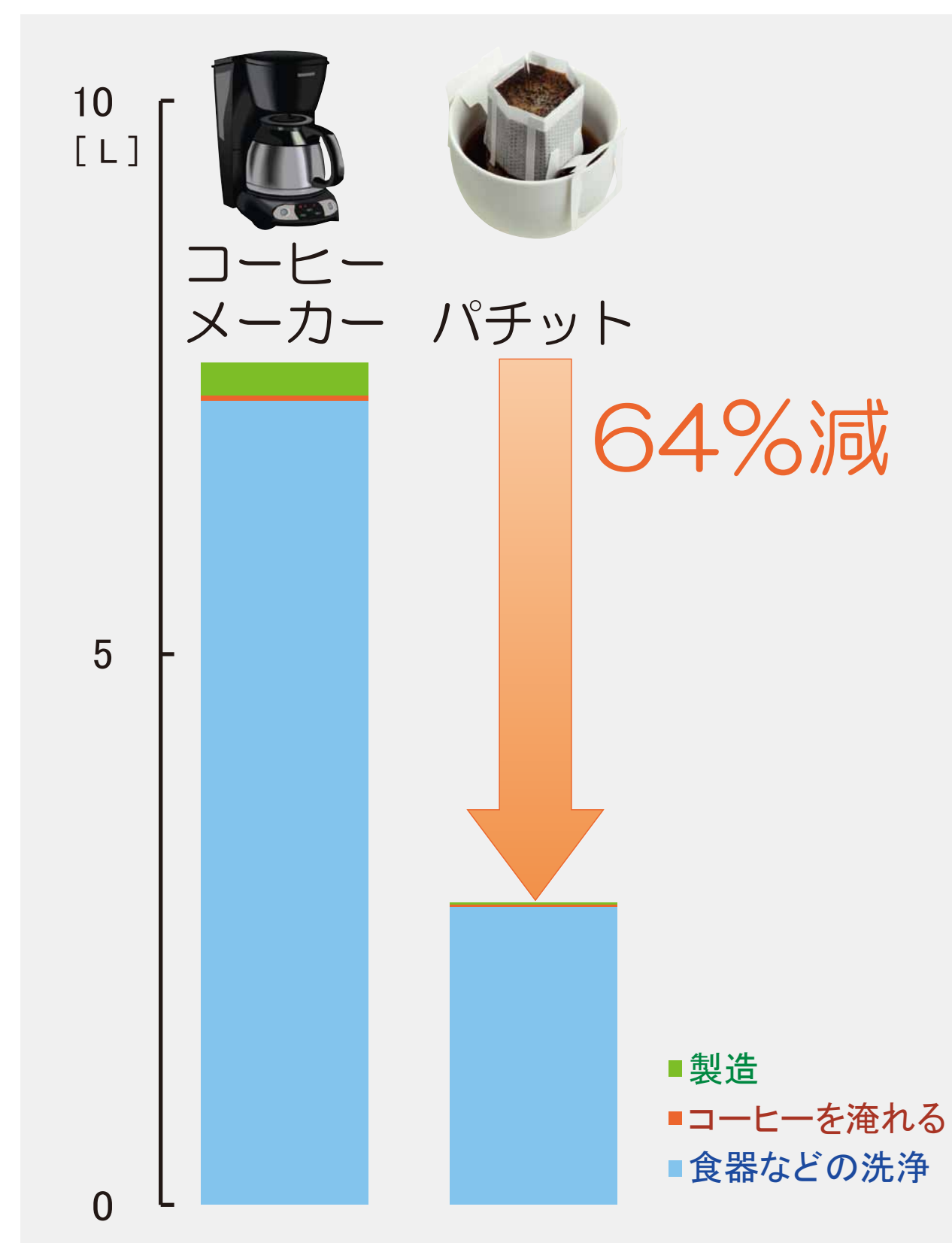
コーヒーを美味しく淹れられる特殊フィルターを使った、一瞬でカップにセットできるドリッパーバッグ、それがパチット。道具やマシンがなくても、本格レギュラーコーヒーをいつでもどこでも味わえるスグレモノです！

算定範囲（バウンダリー）

フィルターの原料製造から、コーヒーを淹れるエネルギーや食器を洗う水までを算定範囲に含めました。なお、両方に共通しているコーヒー豆の製造やコーヒーを淹れる水については省いています。

算定結果

コーヒーフィルターとしては、パチットの方が一般的なフィルターの3分の1ほどであることが分かりました。また、コーヒーメーカーの製造にかかる水消費量が意外と多いことは、新しい発見でした。コーヒーメーカーで一度に2杯分のコーヒーを淹れたと仮定して算定したのですが、それでも、パチット（1杯分）を使ったときのほうがはるかに水の消費量が少ないという結果になりました。パチットの水消費量が少ないことは予想していたものの、ここまでとは驚きです。



算定によるアピールポイント

パチットは省資源&省エネでエコ。今までそうアピールしてきましたが、今回の検証で特に食器洗いときの水環境への負荷がとても少ないと分かり、自信を深めました。更にエコと美味しさの両立を目指してがんばります！

算定根拠

伊坪研究室ウォーターフットプリントデータベース